

巻頭言

3つの報告 ～学術大会・士会機能強化・職能活動～



会長 中前 和則

会員各位におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。

さて、11月26日(土)、27日(日)に和歌山県民文化会館で開催しました第56回近畿理学療法学会は、上西啓裕大会長、小池有美準備委員長をはじめとする準備委員の先生方、大会当日にお手伝い頂きました会員の皆さま方のお蔭で盛会裏に終えることができ誠に有難うございました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。詳細につきましては、大会長から報告を頂けると思いますが、発表、聴講された会員の皆様におかれましても、実り多き大会になったことと存じます。このような大会を経験することで県協会の結束力が強まると共に、会員の方々の資質向上に繋がるものと喜んでいきます。

今、地域包括システム構築の推進には地方組織の強化が必要であり、日本理学療法士協会から補助金を交付するので、都道府県理学療法士会の機能強化と事務局機能の強化を図って欲しいとの依頼がきています。当協会としましては、会費を上げることなく補助金等を活用しながら機能強化と組織力の強化を図っていきたく考えています。現在、以下の点について県協会の委員会において検討及び推進しています。

- ・事務所移転と事務員の雇用：現在の協会の事務作業は、琴の浦リハビリテーションセンターの私の職場にあります。事務作業は、森本事務局長をはじめ、当センターの理学療法士の職員が仕事の合間を縫って行っていますが限界がきています。日本理学療法士協会の要望どおり、できれば常勤理事1名と事務員の雇用を行いたいと考えていますが、先ずは一般事務員を年内に1名雇用し事務所を現在賃借しているビッグ愛に移転します。そして、二年後を目途に常勤理事等の雇用も検討していきます。
- ・会館建設：20数年前から様々な事業を受託し、コツコツ貯めてきた会館建設基金があります。ビッグ愛の事務所は手狭なため、安価な良い物件があれば購入も検討していきます。
- ・新収益事業の展開：現在、日本理学療法士協会が行っているように、別法人を設立し収益事業を展開していきたいと考え事業内容を検討中です。

職能関係では、7月の参議院議員選挙で当選した日本理学療法士協会副会長の小川かつみ氏が、厚生労働委員会委員に就任することが決まりました。自民党議員であるが故に1年生で頂けたポストで、正に保険改正に向けて意見を戦わせる委員会です。平成30年の同時改定に向けて、小川かつみ氏の活躍に期待しましょう。また、11月29日に「リハビリテーション議員連盟」の勉強会が参議院会館会議室で行われました。自民党国会議員本人と秘書等の代理を合わせ80名、厚生労働省から4名、理学療法士連盟・協会役員64名の総勢148名の大会議となりました。その場で、「理学療法士法の改正」、「厚生労働省内にリハビリテーション課を創設」の2点について要望いたしました。理学療法士法の改正については、現在、日本理学療法士協会理事会、ブロック代表士会長で意見を取りまとめているところです。

また、これまでは国会議員の擁立を訴え続けて参りましたが、今後は全国の都道府県においても地方議員の擁立が必要ではないかと考えています。

今後におきましても、学術活動・公益活動・職能活動の三位一体の活動が必要です。

県協会の運営に際しまして、会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

第56回近畿理学療法学術大会 報告

◇第56回近畿理学療法学術大会の報告と御礼

第56回近畿理学療法学術大会大会長 上西 啓裕

去る平成28年11月26日土曜日と27日日曜日の両日、和歌山県民文化会館におきまして、第56回近畿理学療法学術大会を開催いたしました。27日は朝から生憎の天候ではございましたが、両日あわせ多くの方々にご参加いただきました。

当大会は近畿2府4県の理学療法士会が持ち回りで開催しており、6年に一度当県士会が開催を担当し行ってきました。前回の兵庫に続き今回は2日間での開催となり、かつて経験のない日程に戸惑いながらも、昨年5月から小池有美準備委員長をはじめ、27名の準備委員の方々に20数回にもおよぶ委員会や部局会を開催して頂き、検討と準備を行ってまいりました。準備委員の方々には、日々の本務でお忙しい中、どのの方々におかれましても、精力的に担当部局での役割をきっちりと遂行頂き、何ら問題もなく当日を迎えることができ、また2日間本当に素晴らしい運営を行って頂きました。そして、当日は26日が150名、27日が200名近くの会員の方々に運営全般のご協力を頂きました。慣れない役割などで緊張の連続であったろうと思います。さらに、両日で200名近くの当県士会の方々にご参加頂き、学術大会を盛り立てて頂きました。お陰で当大会は大過なく無事に、また成功裏に終了できましたことをこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

私は、前回、前々回と準備委員長を仰せつかり微力ですが関わりましたが、今回は未知の日程に加え、多くの企画で開催に挑み、正直、不安でした。しかし、皆様のご苦勞とご努力のお陰で、予想以上の学会運営そして学会開催を実現することができました。今回、和歌山はまさに皆様の手作りの学会を、皆様の英知と実行力で実施できたのだと思います。この事実は非常に大きいです。そして、それは何ものにも変えられない財産を、我々に、また和歌山県士会に残して頂いたと思っています。

まだ、支出管理や報告、そして学会誌作成等多くの残務がございます。委員の方々には恐れ入りますが、引き続きご足勞頂きながら、当事業を完遂できればと思っています。

最後になりましたが、和歌山県士会が誇る会員の皆様に心から感謝し、そして当会の発展と皆様の今後の益々のご活躍を祈念して、甚だ簡単ではございますが御礼の挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。

◇近畿理学療法学術大会に向けた準備委員会の存在

第56回近畿理学療法学術大会準備委員長 小池 有美

近畿学会（現近畿理学療法学術大会）は、第54回までは1日のみの開催で継続されてきました。しかし昨年の兵庫県で初めての2日間開催が計画され、持ち回りで今年担当となる和歌山県でも、同じように2日間の開催を立案したのは昨年の5月のことでした。

準備委員会は、これまで経験のなかった複数日開催に対応するためそれに見合ったプログラム検討など、規模やスタッフ数の予測が難しいと感じるなかスタートしました。準備委員内での話し合いは、最低月1回以上の会議と部局ごとでの打ち合わせや、会場である県民文化会館との打ち合わせ、さらにメーリングリストを使ったネット上での情報交換など、この1年半をかけてずっと開催していました。今までの学会で未実施だった『準備』としては、兵庫県士会の先生方にもご協力頂き、昨年の2日間開催の裏側に『視察団』だとして足を運んだり、近畿の府県士会学会にもお邪魔し『第56回近畿理学療法学術大会』の広報をさせて頂いたり、現場に近づいてイメージを膨らませながら行いました。

また近年、学術集会請負専門業社にそのほとんどを委ねる学会が増えるなか、当県ではホームページと案内誌や学会誌の作成、演題登録以外は、ほぼ和歌山県理学療法士協会会員の皆様にご協力頂きながら執り行い、まさに『会員による手作りの学会』となりました。

私自身、前回の学術大会から準備委員として参加させて頂き、2回目の準備委員会参加でした。今回は過去に上西大会長が担当されていた役割を引きつぐこととなりましたが、なかなか周りが見えず先も読めず、現状を形に（数字に）示すことに憂慮することばかりでした。上西大会長が今回の学会を『当県士会の人材育成の場でもある』という言葉で表現されていましたが、まさにこれまで向き合ってきた業務とは違う舞台で、その都度状況を理解し、緊要なことに対応できる能力が問われました。残念ながら、周囲の皆様にご迷惑をおかけすることも

多々あり、運営をお手伝いして下さった会員の皆様、理事の先生方に本当に助けて頂きながら、何とか学会を終えることが出来た、と感じております。無力さを感じることも多かった反面、一緒に連携しながら準備委員として活動して下さった他施設の先生方からは、たくさん学ばせて頂きました。『井の中の蛙大海を知らず』と感じる程、様々な考えや本学術大会のために一生懸命力を尽くされる姿を目の当たりにし、本当に良い刺激となりました。第56回近畿学術大会準備委員会の存在は、私の無形の財産にもなりました。このような繋がりが今後若い世代の先生方にも広がり、さらに和歌山県の理学療法士同士の絆が深まり、そして未来に繋がっていくことを祈っております。

最後となりましたが、この場をお借りし本学術大会開催にご協力下さった全ての皆様に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



◇平成 28 年度和歌山県保健衛生（医事）功労者知事感謝状受賞

表彰審査委員長 前 裕充

去る 11 月 30 日（水）に和歌山県保健衛生功労者知事感謝状贈呈式がアバローム紀の国でとりおこなわれました。 当会より「浦 正行」氏が受賞されました。この賞は保健衛生（医事）に長年従事された方に贈られるものです。授賞式には会長代理としまして上西副会長が出席致しました。贈呈式では、約 50 名の規模で、粛々と執り行われたようです。また、医事を代表して浦先生が感謝状を受け取り、受賞者全体を代表しまして浦先生が知事に謝辞を述べられました。誠にありがとうございました。

以上ご報告致します。



理事会 報告

■平成 28 年度第 4 回理事会報告■

日 時：平成 28 年 6 月 25 日（土）17:00～17:30

場 所：和歌山県立医科大学 4 階 臨床講堂

参加者：

（出席理事）中前和則、林積司、上西啓裕、吉富俊行、森本昌信、前裕充、南和幸、西川典男、岩崎正和
須賀和明、松井有史、林元光広、美濃真豊、辻中清晃、橋尾学

（出席監事）浦正行、川村是安

（委任状）安井常正

議 案

1. 資産取得資金の積立額変更について

総会にて承認を受けた財務諸表について、遊休財産額の保有上限を超過してしまったため、県の公益法人担当者へ相談した結果、事務所の拡大に伴う情報インフラ整備積立資産として 300 万円を計上していた資産取得資金を、事務局強化資金として 150 万円の積立に変更し、情報インフラ整備積立資産として積立不足分 165 万円を資産取得資金として積立て、さらに会館取得資金として追加で 130 万円を積み立てることを説明し承認を得ました。

■平成 28 年度第 5 回理事会報告■

日 時：平成 28 年 9 月 17 日（土）15:30～17:00

場 所：和歌山ビッグ愛 12 階 協会事務所

参加者：

（出席理事）中前和則、林積司、上西啓裕、吉富俊行、森本昌信、南和幸、西川典男、岩崎正和、須賀和明
松井有史、辻中清晃、橋尾学、安井常正

（出席監事）浦正行、川村是安

（委任状）前裕充、林元光広、美濃真豊

1. 議 案

- 1) 入会・復会申請について（新入会申請 8 名、復会申請 4 名）の承認について事務局より報告し承認される。
- 2) 補正予算として
地域包括ケアシステム推進局各支部への支部費について 各支部に 10 万円の活動費を補正予算として理事会に申請し承認される。
- 3) 和歌山市委託事業「WAKAYAMA つれもて健康体操」アンケート調査実施について承認される。
- 4) 地域包括支援センター機能強化事業として、自立支援に関する地域ケア会議等での会員への支払いについて和歌山県リハビリテーション専門職協議会会議にて、それぞれの団体から派遣する場合の費用として、日当 5,000 円＋交通費で統一することで承認される。

2. 各局からの報告・検討事項

1) 事務局：各部からの資料にて報告

①新卒入会 8 名、復会申請 4 名（別紙） 平成 28 年 9 月 12 日現在 会員数：1,153 名

②全国事務局長会議報告（資料）

平成 29 年 7 月 17 日に全国一斉介護予防・健康推進キャンペーンを実施する。

茨城県で実践されている、シルバーリハビリ体操を平成 29 年度介護予防・健康増進キャンペーンで都道府県理学療法士会が国（県）民を対象に開催する。

都道府県士会に都道府県マネージャーを 1～2 人位置づけ、全国一斉介護予防・健康増進キャンペーンを企画・実演する役割を担う。（和歌山県からもマネージャーを 1～2 名選出する）

2018 年度 3 月から会費を前納制に変更する予定（会費未納退会の防止策として）

理学療法士賠償責任保険全員加入制度について別紙のとおり報告

③定款細則の会務分掌規程について、各担当理事で確認をお願いしたい。

④事務局機能強化特別委員会より

現在、事務所機能強化のため準備中

2) 学術局：別紙資料にて報告

①近畿理学療法士学術大会進捗状況：資料にて報告

②新人教育プログラムはほぼ終了

3) 広報局：別紙資料にて報告

①理学療法啓発事業補助金申請について補助金交付決定完了

日理協より上限 50 万円まで補助金を交付する旨の連絡あり。前回 454,000 円の交付を受けている。

②50 万円に満たなかった（46,000 円）分については福祉局事業で申請を検討中

③湯浅町立山田小学校バリアフリー学習会 日時：12 月 8 日（木）10:45～12:45 協力会員募集中

④次回のニュース原稿は、12 月 2 日締め切り（年内発送のため期限厳守）。

4) 厚生局：別紙資料にて報告

ゴルフコンペ、ボーリング大会の参加者募集中

5) 職能局：別紙資料にて報告

会長より「訪問整体理学ゼーション和歌山・本店」への対応について説明→今後は職能局にて対応を依頼する。

6) 対外活動統括：別紙資料にて報告

①和光市地域ケア会議視察報告

②和歌山県主催モデル市町の地域ケア個別会議導入セミナー担当者決定

7) 福祉局：別紙資料にて報告

難病子供キャンプ参加報告、健康まつり（10、11 月）・地域リハ講座（12 月）予定

8) 保健局：別紙資料にて報告

10 月 29 日に和歌山市健康応援フェア開催

- 9) 地域包括ケア推進局：別紙資料にて報告
和歌山市委託事業「WAKAYAMA つれもて健康体操」アンケート調査実施について承認
- 10) 紀北地域局：別紙資料にて報告
6月18日研修会開催、9月25日、2月5日研修会予定
- 11) 和歌山市地域局：別紙資料にて報告
1月22日紀北地域合同勉強会開催予定。発表演題募集中
- 12) 紀中地域局：別紙資料にて報告
8月21日新人教育プログラムD1～D4開催。9月10日研修会開催。12月に学会開催予定
- 13) 紀南地域局：別紙資料にて報告
9月4日新人教育プログラムE開催。9月9日田辺・西牟婁ブロック勉強会。10月23日紀南地域局学会・研修会開催予定
- 14) 財務局：別紙資料にて報告
 - ①特定資産について平成27年末総会資料から変更あり（第4回理事会で承認済み）。
445万円を繰入金とする。
(内訳として、会館取得積立 130万円、情報インフラ積立 165万円、事務局強化資金 150万円)
 - ②熊本県への義援金342,868円 礼状（別紙）

■平成28年度第6回理事会報告■

日 時：平成28年10月29日（土）15:30～19:30

場 所：和歌山ビッグ愛 12階 協会事務所

参加者：

（出席理事）中前和則、林積司、上西啓裕、吉富俊行、森本昌信、西川典男、松井有史、前裕充、辻中清晃
林元光広、美濃真豊

（出席監事）川村是安

（委任状）南和幸、岩崎正和、須賀和明、橋尾学、安井常正、浦正行

1. 議 案

- 1) 入会申請者1名について承認される。
- 2) 旅費規程について：資料のとおり変更案を提出し承認される。
 - ①用務での移動について、現在の物価状況と移動方法の実情を鑑み、旅費規程を変更する。
 - ②公共交通機関での算出と自動車移動での算出はどちらを選択してもよい。
会員が移動において、不足することがないようにする。
 - ③請求旅費については各自申請する。
 - ④自家用車使用の場合、高速料金（領収証不要）、駐車場料金を支給する。
 - ⑤理事会については請求金額を事前に財務局に申請することとする。
 - ⑥部長・部員の自動車移動に関しては、所属の担当理事の許可を得る。

2. 各局からの報告・検討事項

- 1) 事務局：別紙資料にて報告
 - ①新卒入会1名（別紙） 平成28年10月24日現在 会員数：1,148名
 - ②10月19日に事務用品等搬入済み。
 - ③事務員雇用について。
パート従業員として雇用を検討中
雇用後は引き継ぎ・指導を従業員就業時間中に行う必要がある。
年明けに業務を移行できればと考えている。
ハローワークに募集をかける予定だが、各理事の知り合いに適任者がいれば紹介いただきたい。
 - ④和歌山認知症症例検討会について。
会員の参加を促していただきたい。
- 2) 学術局：別紙資料にて報告
 - ①事業報告・計画について、承認を受ける。
 - ②近畿理化学療法士学術大会進捗状況を資料にて説明
理事は当日運営にかかわるので、参加費は不要
開会式壇上配置図について、別紙資料で報告
開会式壇上に盛花をする。

来賓案内係担当について、別紙資料にて報告

祝電披露順について

※時間の都合で電文披露は一つのみとし、他は名前のみとする。

近畿ブロックの会議にかかる費用

宿泊費・交通費・昼食弁当は近畿ブロックより支出

生涯学習担当者会議、倫理担当者会議の交通費については各府県士会より支出

3) 広報局：別紙資料にて報告

①県主催バリアフリー体験学習会について。

県より事業実施が長くなっている（21年目）ため終了したいとの連絡があったが、異議申し立て、結果的には事業名を変えて今後も実施する。

「あいサポーター研修」の講義として、これまでのバリアフリー体験講座を継続する。

年間予算40万円を予定。将来は「地域リハ講座」との1本化も検討しているとのこと。

②次回ニュース原稿締め切りは12月2日、巻頭言については11月18日締め切り。

4) 厚生局：別紙資料にて報告（代理：森本事務局長）

平成29年1月21日の新年会会場はアバローム紀の国またはダイワロイネットで検討する。

5) 職能局：別紙資料にて報告

柔道整復師の学校カリキュラムが99単位になった。理学療法士は93単位のまま。医療類似行為の学校カリキュラムのほうが多いのが現状

6) 対外活動統括：

①福祉局：別紙資料にて報告（代理：松井理事）

②保健局：別紙資料にて報告

③地域包括ケア推進局：別紙資料にて報告

7) 紀北地域局：別紙資料にて報告

8) 和歌山市地域局：別紙資料にて報告

①1月22日の紀北地域合同勉強会を1月29日に変更する。

②連絡網への依頼メールを送る際は、転送しやすいようにしていただきたい。誤送を防ぐため。

9) 紀中地域局：別紙資料にて報告（代理：森本事務局長）

10) 紀南地域局：別紙資料にて報告（代理：森本事務局長）

11) 財務局：別紙資料にて報告

旅費規程（案）について：別紙資料にて提案し承認される。

3. その他

1) 和歌山県リハビリテーション専門職協議会（別紙報告書）

①OT士会 ST士会と連携を取りながら進めていく。

②各支部部長等必要な方の名刺を支部費で作成する。

③WAKAYAMA つれもて健康体操について

各開催場所担当を決め、広報誌を作成し、活動状況を広報する。

④県内包括支援センターに各支部担当者一覧を送付予定

2) 士会組織機能強化支援金助成モデル士会選定のための要望申請について：別紙資料にて検討中前会長が申請案を作成する。

次回理事会 1月21日（土）15:30～ 終了後新年会

◇バリアフリー体験学習会の報告

1. 協会独自事業

日 時：平成28年10月8日（土）9：00～11：00

場 所：広川町立南広小学校

対象者：6年生児童38名 保護者38名 教職員 約90名

参加者：中口・西林（有田市立）、宮原・阪中（済生会有田）、玉置・岩垣（西岡病院）

栗山（特養ときわ寮川辺園）、大西（特養真寿苑）、阪口・杉原（海南医療）

前馬・吉富（日赤）、西田（国際厚生学院 学生）



「バリアフリー体験学習会」に参加して

有田市立病院 西林 達哉

平成28年10月8日に、広川町立南広小学校で行われたバリアフリー体験学習会に参加させて頂きました。

小学生と保護者を対象に車椅子、松葉杖、自助具、義肢装具、アイマスクなどの説明や実際に体験してもらい、普段生活してる場所でもたくさんのバリアが存在することを体験することができる機会であったと思います。

印象に残った体験としては、アイマスク体験です。目の前の障害物に対して適切に分かりやすく説明することの難しさや、お互いの信頼関係が重要であると見て感じました。

今回の体験を通して、障害者の生活や理学療法士の職業のあり方など理解して頂ける貴重な機会であったと思います。今後もこのような機会があれば参加させて頂きたいと思います。

2. 有田振興局事業

日 時：平成28年12月8日（木）10：45～12：25

場 所：湯浅町立山田小学校

対象者：全校児童27名 保護者2名 教職員5名

参加者：中山（西岡病院）、松本・伊豆（済生会有田）、塩路・宮井・井口（北出病院）

阪口（海南医療）、吉富（日赤）

バリアフリー体験を教える側に立って

北出病院 井口 祐貴

小学生を対象に車椅子の操作・使用方法、介助時の注意点、松葉杖使用方法、応用歩行、盲目者体験を指導する立場に立つという貴重な体験をさせて頂いた事を報告させていただきます。

まず、普段の日常生活では体験することがない車椅子操作や介助、盲目者体験等を体験した小学生の反応から、目が見えず普段から行っている事ができない恐怖心・自分の体が上手く動かせない事のもどかしさを表情や発言から感じとることができました。指導するにあたり、小学生達が恐怖心を取り除けるよう注意しながら声掛けを行い、介助方法や支援の仕方に興味をもってもらえるよう心がけて実施しました。障害を抱えて現社会で生きていく難しさ、またバリアフリー化が進んでいるとはいえ完全ではなく支援が必要である場面が多い事も今回の体験を通してこれからの生活で活かすことが出来ればと思います。

また、障がい者が困っていれば勇気をもって声をかけてあげること、困った人や身体の不自由な人や場面に気付き、1人でも多くの方を助けられるきっかけになると嬉しいです。

今回は小学生を対象に指導するとあり、普段の仕事では学べない面や自身にとっても良い経験となりました。改め

て、人に教えるという事がどれほど難しい事を再確認できました。また今回、理学療法士という仕事を知り、興味をもってもらえた子がいれば嬉しいです。

「バリアフリー体験学習会」に参加して

済生会有田病院 伊豆 伊芳里

今回、湯浅町立山田小学校へ、バリアフリー体験の講師として参加させていただきました。

小学校の子供たちや、教員の先生方、保護者の方々に松葉杖や車椅子の使い方を指導したり、視覚障害を持った人の体験をしてもらうというものでした。

現在、私は回復期病棟で働いています。働いている地域の特色として、高齢者と関わる事が多く、子供との関わりは少ない環境です。そんな中で、子供たちに分かりやすく伝えることの難しさを感じました。参加されていた理学療法士の先生方は、専門用語を噛み砕いて分かりやすく子供たちに説明されていました。子供たちも、先生の説明を真剣に聞いて理解し、バリアフリー体験も熱心に取り組んでくれていました。子供たちにとっても、貴重な経験になったと思います。

よく、知り合いや友人に、理学療法士ってどんな仕事してるの？と、聞かれることがあります。わたし自身もこの仕事を知ったのは高校生のとき、親から聞いたことがきっかけでした。そこで実際に病院に見学に行って、リハビリってこんなことをする仕事なんだと知ることができました。それまでは、理学療法士という仕事とは関わる機会がなく、恥ずかしながら、名前すら知りませんでした。理学療法士の人数が増えている中、まだ認知されていないところもあるのかなと思います。実際に、私たち理学療法士が子供たちと関わることで、いまの子供たちに、理学療法士という仕事を知ってもらい良い機会だと思いました。

私自身もすごく勉強になりました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



◇ふれあい人権フェスタ 2016 報告

日 時：平成 28 年 11 月 19 日（土）10：00～16：00

場 所：和歌山ビッグホエール

参加者：南・藤野・井瀬・辻（済生会和歌山）、前田（紀和病院）、阪口（海南医療）

安達・前馬・吉富（日赤）、国際厚生学院 学生 4 名



◇名称変更により『スポーツ活動支援部』の発足と高校野球メディカルサポートの報告

スポーツ活動支援部長 石橋 昭人

和歌山県内で開催されるスポーツ大会（障がいスポーツ・健常スポーツ）の医療的支援の窓口となる、スポーツ活動支援部が発足しました。

会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

◇メディカルサポート講習会

日 時：平成28年7月3日（日）9：30～13：00

場 所：角谷整形外科病院2階 第1理学療法室

内 容：「高校野球メディカルサポートで大事にしたい事 ～サポートに入る上で最低限必要な知識～」
「ケーススタディ」

講 師：野田 彰一朗（和歌浦中央病院）

石橋 昭人（済生会和歌山病院）

新谷 星那（角谷整形外科病院）

鳥居 久展（角谷整形外科病院）

参加者：16施設50名

◇第98回全国高等学校野球選手権和歌山大会メディカルサポート事業

日 時：平成28年7月13日（木）～7月28日（木）

会 場：紀三井寺公園野球場

内 容：メディカルサポート事業

また春季近畿地区高校野球大会、秋季近畿地区高校野球大会・県二次予選、秋季近畿地区高校野球大会でもメディカルサポートを実施しました。

「高校野球和歌山大会メディカルサポート講習会2016」から得たこと

寺下サニークリニック 森田 将行

2016年7月3日（日）に角谷整形外科病院にて実施された「高校野球和歌山大会メディカルサポート講習会」に参加させていただきました。内容は、サポートに関する最低限必要な知識として、済生会和歌山病院の石橋昭人先生よりメディカルサポートのシステムと選手に対してのクーリングダウンについて、和歌浦中央病院の野田彰一朗先生より試合中のアクシデントへの対応について講義をしていただきました。また、模擬練習として角谷整形外科病院の新谷星耶先生よりケーススタディをさせていただきました。

今回の講習会においてクーリングダウンをするにあたり詳細な評価を行うそのものが治療として使えること、アクシデントが起こった際に冷静な判断や対応が行えるために必要な知識やケースを用いて心構えを学ぶことができました。またアクシデントに対して一人の理学療法士としてではなく、サポートに関わるスタッフ全員が認識をもって役割をしっかりと把握することで、一つのチームアプローチとして関わる事が非常に重要であるとも感じました。私も様々なサポート現場で活躍されている先生方と現場で貢献できるよう更に知識や技術を日々積み重ねていきたいと思えます。

最後に、今回も貴重な経験をさせていただいた先生方に感謝いたします。

職能局より

◇第16回和歌山県病院大会、第21回和歌山県病院協会学術大会 報告

コ・メディカル団体担当部長 貴志 真也

平成28年11月6日(日)ホテルアバローム紀の国にて、第16回和歌山県病院大会、第21回和歌山県病院協会学術大会が開催されました。当協会からは角谷整形外科病院の貴志真也、片岡大輔の2名が準備委員として、谷田英明が座長として活動してくださいました。本大会では、総勢859名の参加者があり、そのうち理学療法士は51名の参加でした。一般演題数87演題で、理学療法士からの演題は5演題あり、河西田村病院の田中正道先生が優秀賞を獲得しました。午後からのシンポジウムでは「診療報酬と病院機能」というテーマに基づき理学療法士、看護師、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師、栄養士、臨床工学技士、作業療法士の8団体からの講演がありました。理学療法士からは、国保日高総合病院の横尾学先生に理学療法士の立場から発表をしていただきました。各協会ともに診療報酬改定に伴い多くの問題が発生し、その対応に苦労していることが分かりました。理学療法士からは、2025年の地域包括ケアシステム推進を中心にした対応についてであり、協会、施設、個人レベルで理学療法士それぞれの立場から知識・技術の向上を土台に診療報酬改定に柔軟に対応していくことが重要であるとの報告内容でありました。今回の学術大会で感じたことですが、年々理学療法士の発表と参加人数が減り、フロアからの質問も少なくなっています。もっと積極的な質疑応答が得られる場にしていきたいと思っておりますので、是非理学療法士の発表や参加をお願いします。第16回和歌山県病院大会では済生会和歌山病院の南和幸先生が永年勤続者会長表彰を受けました。おめでとうございます。これからの益々のご活躍を願っております。

対外活動統括より

【福祉局】

福祉局担当理事 須賀 和明

「輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ」に参加して

白浜はまゆう病院 松本 大輝

9月3日から9月4日にかけて和歌山マリーナシティで行われました「輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ」に今年より初めて参加させて頂きました。職業や年齢を問わず、様々な方がこのボランティアに参加していました。

ボランティアとして参加したものの、障害を持つ子ども達との関わり方や、コミュニケーションの取り方が分からず表情が硬くなり、初めは、病気を持ちながらも力強く生きる子ども達やその家族に胸を打たれるばかりでした。

二日間を通して振り返ると、ボランティアの私たちが子ども達の笑顔に元気を貰い、勉強させて頂いたリゾートキャンプになりました。今後も継続して参加させて頂き、子ども達の成長に少しでも関わっていききたいと思います。

「輝け・病気のこどもたち！リゾートキャンプ」に参加して

白浜はまゆう病院 森本 卓馬

2016年9月3日(土)～4日(日)、和歌山マリーナシティにて、「輝け・病気のこどもたち！リゾートキャンプ」に参加させて頂きました。私は9月3日のみ参加でしたが、私は主にこども達と遊んだり入浴介助等のボランティア活動をさせて頂きました。

こども達は目の前の遊びに夢中で、とても楽しそうに過ごされていました。こども達と遊んでいると、とても楽しそうに遊んでおりとても元気をもらいました。普段の病院の業務では病気のこども達と接する事が無いので、良い経験になり、大変勉強になりました。

来年度もぜひ参加したいと思います。



第12回海南市民健康祭り

辻秀輝整形外科 田伏 健久

10月16日（日）海南市保健福祉センターにて第12回健康祭りが開催されました。

当日は少し涼しくなりましたが、天候も良く、大勢の市民の方が、福祉センターへ足を運ばれていました。今年の祭りは健康増進、介護予防、健康寿命の延長、防災などのテーマで開催されており、和歌山県理学療法士協会からもブース参加で海南市内の会員3名が参加、在宅でのリハビリや健康相談、杖の点検及び協会活動のパネル展示などで協力させて頂いております。普段から健康意識の高い方も多く来られており、腰痛や変形性膝関節症、肩の痛みなど生活の不活発からくる機能低下などについての相談に多くの方が協会のブースに訪れてくれました。

地域の方との、施設外での交流も経験でき、貴重な一日となりました。



「かみとんだ健康福祉と文化のまつり」に参加して

老人保健施設成華苑 初田 栄之

11月6日（日）上富田福祉保健センターで行われた健康福祉と文化の祭りに参加させて頂きました。

当日は多くの上富田町民の方達がブースを訪れてくださり、肩・腰痛などに関することや介助方法や転倒予防など様々な内容の相談がありました。最初は来場された方から次々と質問され、その聞いた情報のみで状況を考察して助言をすることに戸惑いと難しさを感じましたが徐々に慣れ、理学療法士という身体の専門職として適切な助言をするように努めました。

普段の業務では体験できない貴重な経験をさせて頂き充実した1日でした。



【保健局】

保健局担当理事 松井 有史

皆様いかがお過ごしでしょうか？本格的に寒くなり体調を崩さないよう夏から秋にかけて保健局の事業は多くなります。今回は下記の通り事業を行いました。大きく分けて災害リハ事業と保健関連外部委託事業です。今後とも会員皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

◇災害リハ事業について

災害対策特別委員会、対外活動統括担当理事 岩崎 正和

災害リハに関して、下記のような内容を今後も進めていきます。災害リハに興味がある方、職場で災害対策担当等に携わっている方は、災害リハ対策へのご指導ご協力をいただきたいと思います。是非、災害対策特別委員会やリハ支援体制推進部にお声かけいただき、今後の災害対策推進にご協力ください。

- ・災害対策や災害リハについて、会員への啓発
- ・震災に備え緊急連絡簿の作成、連絡方法の構築
- ・災害リハ派遣等対策の体系作り
- ・災害リハ対策について近畿ブロック等都道府県士会との連携強化
- ・災害についての啓発活動（研修会等）等

～トピックス ①【地震の対応 まず、自分の身を守ろう】～ 首相官邸ホームページより

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。

そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンのワンセグやネット通信機能など、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

【家の中では…】

- ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に隠れましょう。
- ・家具や吊り下げ物から離れましょう。
- ・揺れがおさまるまでは危険ですので、あわてて外へ飛び出さないようにしましょう。
- ・火事が発生した場合には可能ならば火の始末をし、火元から離れている場合は無理して火元に近づかないようにしましょう。

【外出時では…】

- ・ブロック塀や家屋や建物そのものの倒壊に注意しましょう。
- ・かばんなどで頭を保護し、看板や割れたガラスの落下から身を守り、広場などの安全な場所へ避難しましょう。まずは、身の安全を確保した後、むやみに移動を開始しないことが基本！安全な場所にとどまることを考えましょう。
- ・道路では余震で頭上から物が落下してきたり、道中に火災が起こっていたりするなど、数多くの危険が予想されますので、安全な場所からはむやみに移動しないようにしましょう。
- ・駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになる集団転倒が起きやすくなりますので、駅周辺には近づかないようにしましょう。
- ・発生3日程度は火災の発生や救助・救急活動優先のため、混乱状態が続きますので、まず身を守るために安全な場所にとどまることを考えましょう。

災害リハ関連事業については下記の通り実施しました。

◇熊本 JRAT の報告

JIMTEF ベーシックコースの受講

主 催：公益財団法人 国際医療技術財団

日 程：平成28年7月17日（日）・18日（月祝）

会 場：独立行政法人国際協力機構関西国際センター（JICA 関西）

内 容：災害医療概論等

参加者：松島（和医大）

災害ボランティアの研修（県社協主催）

主 催：和歌山県災害ボランティアセンター
日 程：平成 28 年 7 月 19 日（火）
会 場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 12 階 1202
内 容：災害ボランティア活動支援機能の強化に向けて ミーティング（第 1 回）
参加者：松井（国際厚生）、小橋（恵友病院）

◇第 3 回大阪府大規模災害時要援護者 支援活動リーダー養成研修

主 催：大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会
日 程：平成 28 年 10 月 29 日（土）
会 場：大阪医科大学 学Ⅱ講堂
内 容：活動報告、特別講演
参加者：松島（和医大）：活動報告、岩崎（栗原整形）

◇近畿ブロック災害対策担当者会議（今年度は和歌山県士会が主担当）

【第 1 回】

日 程：平成 28 年 8 月 6 日（土）
会 場：新大阪丸ビル 本館 501 号室
内 容：災害時支援派遣、災害リハ活動実績、府県での研修会、災害活動等 他
参加者：本白水・辻（滋賀）、並河・依岡・万谷（京都）、岩井・山本・佐野（兵庫）
山川・熊崎・尾谷（大阪）、石橋・西田（奈良）、中前・森本・岩崎（和歌山）

【第 2 回】

日 程：平成 28 年 11 月 27 日（土）
会 場：県民文化会館 4 階 407 会議室
内 容：近畿府県の災害に対する協力体系について 他
参加者：辻（滋賀）、万谷（京都）、佐野（兵庫）、尾谷（大阪）、西田（奈良）、岩崎・松井・橋尾（和歌山）

研修会等決定次第ご報告させていただきます。積極的にご参加くださいますようお願いいたします。

◇保健関連外部委託事業について

保健局長 松井 有史

介護予防推進キャンペーン事業参加

名 称：介護予防推進キャンペーン 全国統一イベントの開催
主 催：公益社団法人日本理学療法士協会（地域包括ケア推進局・広報局合同事業）
日 程：平成 28 年 7 月 17 日（日）
会 場：打田町生涯学習センター 1 階学習室
内 容：地域住民対象介護予防講座「体のバランス能力を考える」、身体機能測定、個別相談
講 師：松井有史（和歌山国際厚生学院）
参加者：吉富（日赤和歌山）、岩崎（栗原整形）、阪口（海南医療）、西本・林（貴志川リハ）
林元・川口・山崎（訪看はやしもと）、山本（公立那賀）、山本（横手クリニック）
雑賀（中谷病院）、脇田・上野（はしもと整形）、脇田（やよいメディカル）、松本（名手病院）
千田（さくらの丘）、池田（角谷リハ）

健康応援フェア 事業参加

主 催：和歌山市保健所
日 程：平成 28 年 10 月 29 日（日）
会 場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 1 階展示ホール
内 容：体力測定

【地域包括ケアシステム推進局】

地域包括ケアシステム推進局担当理事 林元 光広

◇全国一斉介護予防・健康増進キャンペーン（広報局・保健局共催）

理学療法の日（7月17日）にちなみ、7月17日（日）に「全国一斉介護予防・健康増進キャンペーン」が開催され、地域包括ケアシステム推進局介護予防推進部では、地域住民対象介護予防講座「体のバランス能力を考える」、身体機能測定、個別相談を実施し、多くの地域住民の皆さまにご参加いただきました。特に個別相談は予想を上回る盛況ぶりで、全スタッフで対応することになるなど嬉しい誤算もありました。

ご協力いただきました会員の皆様ありがとうございました。

主 催：公益社団法人日本理学療法士協会

日 時：平成28年7月17日（日）9時～12時

場 所：打田町生涯学習センター 1階学習室

内 容：地域住民対象介護予防講座「体のバランス能力を考える」、身体機能測定、個別相談

講 師：松井 有史（和歌山国際厚生学院）

運 営：吉富（日赤和歌山）、岩崎（栗原整形）、阪口（海南医療）、西本・林（貴志川リハ）

林元・川口・山崎（訪看はやしもと）、山本（公立那賀）、山本（横手クリニック）

雑賀（中谷病院）、脇田・上野（はしもと整形）、脇田（やよいメディカル）、松本（名手病院）

千田（さくらの丘）、池田（角谷リハ）、紀の川市役所高齢介護課2名

参加者：50名



◇地域包括ケア推進リーダー導入研修

地域連携推進部部長 川口 香容

平成26年に日本理学療法士協会で、地域包括ケアシステムに関わることでできる人材育成制度として始まった、地域包括ケア推進リーダーの取得要件である導入研修も今年で3回目となりました。

ご受講いただいた会員の皆さまは、真剣に講義をお聞きくださり、地域包括ケアシステムの中でリハ専門職として何が求められているのか、リハ専門職の役割、地域ケア会議の概要等ご理解いただけたと思います。

和歌山県は、近畿圏内の他府県と比べるとリーダー取得率が高く、県士会をあげて多くの会員の皆様にご受講いただいております。

リーダーを取得された皆さまには、地域ケア会議にご参加いただけますよう、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 29 年 1 月 15 日（日）には介護予防推進リーダー導入研修を開催いたします。

また、同 2 月 5 日（日）にはリーダー向けのステップアップ研修（午前：介護予防、午後：地域包括ケア）も予定しておりますので、こちらもあわせてご受講のほどよろしくお願い申し上げます。

日 時：平成 28 年 10 月 16 日（日）9 時 30 分～16 時 30 分

場 所：きびドーム 多目的研修室

講 師：林元・川口（訪看はやしもと）、大橋（角谷リハ）、山本（プライマリー）、雑賀（中谷病院）

運 営：岩崎（栗原整形）、山崎（訪看はやしもと）

参加者：PT 28 名、OT 15 名、ST 9 名



「地域包括ケア推進リーダー導入研修」に参加して

北出病院 安田 友幸

訪問リハビリテーションに従事しており、以前より地域包括ケアシステムに関心があり、今回リーダー取得のため参加させていただきました。

講義では、地域包括ケアシステムが必要な背景や、地域ケア会議での専門職としての役割等について学習できました。今後、よりよい地域づくりのため、専門職として地域ケア会議に参加していければと考えています。

◇支部圏域の動向

■橋本・伊都圏域支部 一支部長：槻木重裕（橋本市民）－

◇九度山町「地域ケア会議」

専門職（PT（槻木：橋本市民）、OT、管理栄養士、社会福祉士、保健師）、ケース担当者、保険者、対象者と家族も同席の地域ケア会議が 4 回開催されました。また、地域ケア会議のその後の経過報告もなされており、やりっぱなしではない「地域ケア会議」が実践されています。

◇橋本市「地域ケア生活ヒント集（仮）冊子」作成予定

橋本市では、軽症のうちに自宅で取り組んでいただく内容や工夫する点について助言指導を行う際の冊子づくりを予定しています。圏域の複数事業所から PT（槻木：橋本市民、他のべ 21 名）、OT が集まり冊子づくりの話し合いが月に 1 回のペースで既に 2 回開催されており、来年 2 月の完成を目標にしています。

■那賀圏域支部 一支部長：美濃真豊（赤ひげ）－

◇「岩出げんき体操応援講座」モデル事業

PT（脇田：はしもと整形）と保健師による自主活動グループの立ち上げ支援モデル事業を市内 2 拠点で実施しました。本事業対象者は岩出市に住所を有し「体操をやりたい」という団体で、

①体操を行う場所・椅子・テレビ・DVD デッキ等を自分達で準備すること

②高齢者 10 人以上で月 3 回以上実施し、最低 3 か月継続すること

以上 2 つの条件を満たす団体となります。

自主活動を継続していただく中で PT のフォローがなければ脱落してしまいそうな方も少なからずおられ、改めて PT が活躍できる事業であることを認識することができました。

■和歌山市圏域支部 一北支部長：吉田知幸（西和歌山）、東支部長：松井有史（国際厚生）

南支部長：龍神正導（龍神整形）、中支部長：林元光広（訪看はやしもと）－

◇「自立支援型地域ケア会議」

「自立支援型地域ケア会議」の運営委員の一員として参画させていただき、介護支援専門員を対象とした研修の企画から関わることができました。今年度前半は「和歌山市における自立と自立支援の定義づくり」をした上で、その定義を基に生活機能評価票を作成する第1クールを終えたところです（市内8か所）。事前の研修会から含めて延べ38名の会員にご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。また11月30日からは実事例による第2クール「公開型地域ケア会議」がスタートしました。こちらは今年度いっぱいをかけて市内9か所で開催予定です。将来アドバイザーとして参画を検討されている方は見学が可能な会場もございますので、和歌山市中支部長（林元）までお問合せください。

◇「WAKAYAMA つれもて健康体操（和歌山市委託事業）」

徒歩圏内に誰でも通える自主活動グループを立ち上げる支援をする事業です。17名（実人数）のPTとOT、STの協働により11月30日現在で市内に24拠点が立ち上がり300名以上の方々が自主活動をスタートされています。今年度の目標は45拠点でまだまだ余裕があります。次の条件を満たすグループをご存知の方は最寄りの地域包括支援センターか地域包括ケアシステム推進局（林元）までご連絡ください。

①5名以上で週に1回は体操の要素を入れた活動をする。②会場や椅子等の備品をご自身で準備できること。詳細は和歌山市地域包括支援課HPや和歌山市役所Facebookページでも紹介しています。

特にFacebookページではみなさんの「いいね!」や「シェア」をお願いいたします。

- ・和歌山市地域包括支援課HP

http://www.city.wakayama.wakayama.jp/kurashi/kourei_kaigo/1001100/1013733.html

- ・和歌山市役所FBページ

<https://www.facebook.com/wakayamacity/?fref=ts>



■海南・海草圏域支部 一支部長：三嶋美一（辻秀輝整形）－

◇紀美野町「平成28年度介護予防講座」

地域住民を対象に「転倒・骨折の予防について」を9月30日に開催しました。講師：新田（野上厚生）

◇海南市「地域リハビリテーション活動支援事業」

海南市におきまして「地域リハビリテーション活動支援事業」（専門職等の関与によって、介護職員等への助言などを実施し、自立支援への取り組みを促す）を行うことになりました。

内容は①地域ケア会議（個別ケース検討）やサービス担当者会議に参加し助言を行う。②対象者宅を訪問し、介護職員等への助言を行う。③シニアエクササイズサークルなどにおいて指導を行う。

の3つです。専門職はPT・OTです。圏域内のPTでご協力いただける方は所属長とご相談の上、三嶋支部長までご連絡ください。

■有田圏域支部 一支部長：岩崎正和（栗原整形）－

◇「有田圏域在宅医療体制検討委員会」

有田振興局にて開催され、医師会を中心に在宅医療サポートセンター、病院、各団体の運営状況などについて話し合いました。参加者は有田圏域自治体・病院・職能団体代表、岩崎（栗原整形）、計37名
次年度から各市町で実施する見込みです。

■田辺・西牟婁圏域支部 一支部長：須賀和明（はまゆう）－

◇「西牟婁圏域医療と介護の連携推進協議会」

西牟婁総合庁舎におきまして2回開催されました。出席者は次のとおりです。

須賀（はまゆう）、西牟婁医師会、南紀福祉センター、玉置病院、白浜小南病院、南和歌山医療センター、紀南病院、白浜はまゆう病院、西牟婁歯科医師会、薬剤師会、介護支援専門員協会訪看連絡協議会、みなべ町、白浜町、すさみ町地域包括支援センター、西牟婁保健所、他

■新宮・東牟婁圏域支部 一支部長：岸尾俊尚（くしもと町立）－

◇串本町「転倒予防公開講座（くしもと町立病院啓発事業）」

串本町主催の「転倒予防公開講座」を9月26日（月）に串本町保健センターにて開催いたしました。講師は岸尾・横嶋・岡本（くしもと町立）が担当し、参加者は民生委員、一般住民のみなさまでした。

地域局より

【紀北地域局】

紀北地域局担当理事 美濃 真豊

平成28年度事業報告

平成28年度第3回紀北地域局ブロック会議

日 時：平成28年9月25日（日）12:30～13:30

場 所：紀和病院

内 容：新人症例検討会の進捗状況確認

参加者：山本、森本、前田、濱

平成28年度第4回紀北地域局ブロック会議

日 時：平成28年11月21日（月）19:00～20:00

場 所：那賀病院 リハビリテーション室

内 容：新人症例検討会の準備、運営把握

参加者：山本、宇治、大井、森本、前田、濱、美濃

第2回紀北地域局研修会

日 時：平成28年9月25日（日）9:00～12:00

会 場：紀和病院

内 容：「運動器機能障害に対する理学療法アプローチの再考」

講 師：吉田 隆紀（関西医療大学）

参加者：10施設25名

平成28年度事業予定

第1回紀北地域局新人症例検討会

日 時：平成28年12月11日（日）9:00～12:00

会 場：橋本市民病院

演題数：8題

第3回紀北地域局研修会

日 時：平成29年2月5日（日）9:00～16:00

会 場：公立那賀病院

内 容：「ゴルフスイングにおける障害予防法と徒手療法」

講 師：宇於崎 孝（滋賀医療技術専門学校）

【和歌山市地域局】

和歌山市地域局担当理事 辻中 清晃

平成 28 年度事業報告

平成 28 年度第 1 回和歌山市北・東ブロック会議

日 時：平成 28 年 7 月 5 日（水）19：30～20：30

場 所：西和歌山病院 リハビリテーション室

内 容：紀北地区合同勉強会準備

参加者：吉田、井上、由利、西川、原野、辻中

平成 28 年度第 1 回和歌山市南ブロック会議

日 時：平成 28 年 7 月 11 日（水）19：30～20：30

場 所：稲田病院

内 容：平成 28 年度理学療法専門研修会準備

参加者：田川、橋崎、辻中

平成28年度理学療法専門研修会 新人教育プログラム（学術局事業に協力・和歌山市南ブロック担当）

日 時：平成28年7月24日（日）9：00～13：00

会 場：和歌山県立医科大学附属病院 4階 臨床講堂 1

内 容：理学療法の基礎 B

B-1 一次救命処置と基本処置 高根 良輔（日赤医療センター）

B-2 クリニカルリーズニング 小林 啓晋（角谷リハ病院）

B-3 統計方法論 岡 泰星（県立医大附属病院）

B-4 症例報告・発表の仕方 橋崎 孝賢（県立医大附属病院）

参加者：B-1 85名、B-2 54名、B-3 43名、B-4 25名

平成 28 年度事業予定

紀北地域合同勉強会（和歌山市北・東ブロック担当）

日 時：平成 29 年 1 月 29 日（日）

場 所：和歌山労災病院 2F 大会議室

内 容：学術発表（発表予定者）

小松大輝（紀和病院）、小松大哲（山本病院）、矢吹光（山本病院）、高橋慎一（河西田村病院）

花澤晃宏（山口整形外科）

備 考：都合により初回案内時と開催日時が異なります。

関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

【紀中地域局】

紀中地域局担当理事 橋尾 学

平成 28 年度事業報告

新人教育プログラム D

日 時：平成 28 年 8 月 21 日（日）

場 所：吉備ドーム

内 容：D-1 社会の中の理学療法

畑中 皓治（下津クリニック）

D-2 生涯学習と理学療法の専門領域

浅井 琢也（きのくにリハビリ訪問看護ステーション）

D-3 理学療法の研究方法論（EBPT 含む）

安岡 良訓（阪奈中央リハビリテーション専門学校）

D-4 理学療法士のための医療政策論

永春 大輔（海南医療センター）

第2回紀中局研修会

日 時：平成28年9月10日（土）
場 所：国保日高総合病院 リハビリテーションセンター
内 容：「PNF テクニックを用いて機能的な体幹をつくる」
講 師：千葉直弘、佐野弘征（辻整形外科）
参加者：6施設 17名

平成28年事業予定

紀中局学会（2年目会員による発表）

日 時：平成28年12月18日（日）
場 所：海南市海南保健福祉センター

中紀局忘年会

日 時：平成28年12月18日（日）
場 所：海鮮ろばた焼 与太郎 海南店

紀中局新人症例検討会

日 時：平成29年3月頃に各地区にて開催
場 所：海南海草・有田・御坊日高地区

【紀南地域局】

紀南地域局担当理事 安井 常正

紀南地域局事業報告

第1回紀南地域局研修会

日 時：平成28年6月18日（土）14：00～18：00
場 所：新宮市立医療センター
内 容：「呼吸理学療法に必要な知識と技術」
講 師：三宅 隆宏（和歌山県立医科大学附属病院紀北分院）
参加者：33名

懇親会

日 時：平成28年6月18日（土）14：00～18：00
場 所：心楽
参加者：18名

新人教育プログラムE

日 時：平成28年9月4日（日）9：00～12：10
場 所：白浜はまゆう病院
内 容：E領域
講 師：E-1：出立 明宏（白浜はまゆう病院）
 E-2：橋度 旭（白浜はまゆう病院）
 E-3：木本 宗志（白浜はまゆう病院）
参加者：71名

平成 28 年度 紀南地域局学術大会

日 時：平成 28 年 10 月 23 日（日）9:00～12:15

場 所：紀南病院 3 階講堂

内 容：

1. 覚醒と Pushing に着目し、移動動作能力向上を目指した症例
白浜はまゆう病院 高垣 茉由
2. 小児期より右片麻痺を呈し、小脳出血を発症した症例の経験
一歩行の安定獲得に向け、体幹を中心とした介入により改善がみられた 1 症例ー
白浜はまゆう病院 廣畑 和彦
3. 両眼性複視を合併した小脳性運動失調患者に対する眼帯装着下での理学療法の試み
那智勝浦町立温泉病院 北村 美穂
4. ADL 能力が向上し、自宅復帰に至った脳梗塞左片麻痺・高度認知症を呈した症例
那智勝浦町立温泉病院 和田 幸雄
5. パーキンソン症候群に対する運動療法・薬物治療の併用により、ADL が改善した一症例
那智勝浦町立温泉病院 松本 香織
6. 右基底核脳梗塞により自宅にて腹臥位で倒れ両膝前面に褥瘡を伴う体幹筋力が低下して基本動作が出来ない症
例
新宮病院 白倉 嵩也
7. おむつが着用が立ち上がり動作影響を及ぼしていた一症例
串本有田病院 尾崎 圭祐
8. 脳梗塞により左麻痺を呈した症例に対して起き上がり動作の改善を目指した 1 症例
白浜はまゆう病院 濱田 拓実
9. 意識レベル低下を呈した脳卒中症例に対し両側長下肢装具を用いたアプローチ
ー意識レベルが向上し意思表示・整容動作獲得を目指した 1 症例ー 白浜はまゆう病院 倉谷 綾伸

特別講演：「症例検討・報告の意義 ー一症例からまなべることー」

講 師：湯田 智久（なかずリハビリテーションセンター）

参加者：41 名

平成 28 年度第 2 回紀南地域局研修会

日 時：平成 28 年 10 月 23 日（日）13:30～16:30

場 所：紀南病院 3 階講堂

内 容：呼吸リハビリテーション 平 和晃（白浜はまゆう病院）
心臓リハビリテーション 武田 真和（紀南病院）
糖尿病理学療法 森本 信三（白浜はまゆう病院）

参加者：34 名

新宮・東牟婁ブロック

勉強会

日 時：平成 28 年 4 月 27 日（水）19:00～

場 所：くしもと町立病院

内 容：障害者スポーツ フライングディスク競技について

参加者：15 名

勉強会

日 時：平成 28 年 9 月 9 日（金）19:00～

場 所：新宮市立医療センター

内 容：リスク管理について ～リハビリテーション場面において最低限知っておきたいこと～

参加者：25 名

他団体・他士会からのニュース 学術誌の受領報告 (H28.6.18～H.28.12.01)

【ニュース】

(公社) 岐阜県 No.117,118	(公社) 山梨県 No.148
(公社) 新潟県 No.175,176	(公社) 大分県 No.107,108
(公社) 滋賀県 No.197,198	(一社) 静岡県 No.157
(公社) 広島県 No.244,245,246	(公社) 大阪府 No.256,257,258
(公社) 愛知県 No.182,183	(一社) 京都府 No.269,270
(公社) 神奈川県 No.268,269	(一社) 兵庫県 No.165,166,167
(公社) 秋田県 No.171,172,173	

【学術誌・学会誌・機関誌・記念誌】

- ・ ゴーゴー介護 (高校生向け介護のイメージアップ冊子)
- ・ 志 (こころざし) 第 7 号 {(公社) 大分県理学療法士会 広報誌}
- ・ 愛知県理学療法学会誌 Vol.28 No1 2016
- ・ 年報 ひたちの 平成 27 年度
- ・ 理学療法いばらき Vol.20 2016
- ・ 高知県理学療法 第 22 号 2015
- ・ 和歌山県病院協会会報 平成 28 年 7 月号 No.233
- ・ 奈良県理学療法士会会誌 No.22 2016
- ・ 理学療法群馬 No.27 2016
- ・ 熊本県理学療法士協会 かくだけい Vol.122
- ・ 言の葉 和歌山県言語聴覚士会機関誌 第 16 号
- ・ 福祉用具ヒヤリハット事例集
- ・ 和歌山県病院協会会報 平成 28 年 9 月号 No.234
- ・ 福祉用具の安全な利用を考える～福祉用具で拓がる自分らしい人生～
- ・ 静岡理学療法ジャーナル 第 33 号 (第 21 回静岡県理学療法士会学会誌)
- ・ 第 67 回北海道理学療法士学術大会 プログラム・抄録集
- ・ 第 16 回 和歌山県病院大会 第 21 回和歌山県病院協会学術大会
- ・ 愛知県理学療法白書 あいち 2015
- ・ 第 25 回新潟県理学療法士学会 学会誌

以上の刊行物をご覧になりたい方は、
事務局、資料調査・管理部の酒井雄亮氏 (琴の浦リハビリテーションセンター) までお問い合わせ下さい。

■事務局からのお願い■

庶務部より

庶務部長 小田 佳亮

施設長名変更時のお願い

変更があった場合、速やかに協会庶務宛に FAX またはメールにてご連絡下さい。

協会事務局 FAX：073-446-1207

メールアドレス：wpt-shom@pt-wakayama.or.jp

記載の内容に関しては、変更前の氏名と変更後の氏名の両方を記載お願いします。

また、フリガナの記載もよろしくお願い致します。

FAX にて送信して頂く場合は文字を大きめで崩さずに記載して頂けるようにお願いします。

会員異動申請について

会員の皆様の中で、自宅会員として異動申請される方がいます。

日本理学療法士協会において、会員区分として下記のとおり勤務先をもつ会員は勤務先会員となります。

これは、和歌山県理学療法士協会でも同様です。

自宅会員とは勤務先を持たない会員のことです。パート勤務の会員で、現在の登録が自宅会員となっている先生方は、再度異動申請の手続きをお願いいたします。

【会員区分について】

勤務先会員	勤務先をもつ正会員 <u>※非常勤の方も勤務先をもつ場合は勤務先会員をご選択ください</u>
自宅会員	勤務先をもたない正会員および休会会員
海外会員	海外に居住する正会員

【所属都道府県士会について】

勤務先会員	勤務先がある県の士会に所属
自宅会員	自宅がある県の士会に所属

(日本理学療法士協会 HP より)

事務所開設のお知らせ

和歌山県理学療法士協会事務局は専用の事務所はなく、琴の浦リハビリテーションセンター内に設置していましたが、平成28年12月19日（月）から事務所を開設し、パート（短時間勤務）ではありますが事務員を雇用する予定で準備をすすめています。

このニュースが皆様のお手元に届く頃には事務所が開設し、少しずつ事務員の方に業務を覚えていただいている段階だと思います。まだまだ事務局機能を全て行うことができる段階ではありません。徐々にすすめていく予定です。会員管理含め事務局業務におきましては、皆様にご迷惑をおかけしていることと思いますが徐々に改善できるようにしていきたいと思います。会員の皆様にはご理解・ご協力の程よろしく願いいたします。

新事務所

〒640-8319

和歌山市手平2丁目1-2

和歌山ビッグ愛 12階

TEL 073-499-5000（不在時は事務局に転送されます）

FAX 073-499-5125

事務局

〒641-0014

和歌山市毛見1451 琴の浦リハビリテーションセンター内

TEL 073-488-1122

FAX 073-446-1207

編集後記

2016年も残りわずかとなりました。皆様にとりましてはどんな1年だったのでしょうか？

今年も当協会は忙しい1年となりました。特に先日開催されました近畿理学療法学会大会では、昨年の兵庫県での学会大会の視察から始まり、準備委員一同が1年をかけて作り上げ、当日運営にあたった会員の協力のもと、無事盛会裏に終えることができました。

今年度より協会執行部の組織が一部改編され、新たにできた地域包括ケアシステム推進局では、先進地域への視察や市町村での地域ケア会議への参画、リハ専門職としての助言など多忙を極めた1年となったのではないのでしょうか。

また、かねてよりの課題でありました事務所の移転と事務員の雇用もようやく現実的なものとなり、協会や事務局機能の強化に向けて一歩ずつ歩みを進めているところです。

今回のニュースにも多くの掲載がありますが、秋は様々なイベントの季節です。健康まつりや福祉系イベントなどが県下各地で開催され、担当部局は忙しい日々を送ったと思います。学術活動は我々理学療法士の根源ですが、一般市民への理学療法士の認知度を高めることも大切で、理学療法士の社会的地位向上につながります。

目まぐるしく変わる社会情勢をしっかりと見極め、中央と地方が一体となって、夢のある理学療法士の将来をつかむために協会はこれからも走り続けます。

来年も今年以上に会員と協会が飛躍の年となることを祈って…。

（広報局担当理事 吉富 俊行）



公益社団法人

和歌山県理学療法士協会

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会
【事務局】
琴の浦リハビリテーションセンター内
〒641-0014 和歌山市毛見1451
TEL 073(499)5000